

ICレコーダー ICD-R100/R200用 パソコン接続キット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は、パソコン接続キットICKIT-W2のソフトウェアのインストールと使いかたについて説明しています。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

なお、最新の情報がフロッピーディスクのreadme.txtファイルに記載されていますので、併せてお読みください。

ICKIT-W2

はじめに

この取扱説明書では、ソニーICレコーダー専用パソコン接続キットの使いかたと付属のソフトウェアのインストールと使いかたについて説明します。始める前に、ICレコーダー本体の取扱説明書もご覧ください。

本ソフトウェアの最新情報について

このソフトウェアの最新の情報については、付属のフロッピーディスクの中の [readme.txt] ファイルを、Windowsに付属のメモ帳などで開いてお読みください。

また、Windowsのスタートボタンをクリックし、[プログラム] [ICD-PCLINK] [ReadMe] を選んでもご覧になれます。

■ ご注意

- このパソコン接続キットはWindows98/95用です。Macintoshではお使いになれません。
- このキットに付属の接続ケーブルは、ICレコーダーICD-R100/R200専用です。他のICレコーダーとの接続にはお使いになれません。

ユーザー登録について

弊社のユーザーサポートをお受けいただくために、「ご愛用者登録カード」に必要な事項をご記入の上、必ずご返送ください。

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。
このソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

Program ©1999 Sony Corporation
Documentation ©1999 Sony Corporation

- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

Copyright ©1995 Microsoft Corporation. All Rights Reserved.

Portion Copyright ©1995 Microsoft Corporation

- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中ではTM、Rマークは明記していません。

目次

ご使用になる前に

ソフトウェア使用許諾契約書	6
付属品を確かめる	7
必要なシステム構成	7
このソフトウェアでできること	8
こんなことができます	8
操作の流れ	10

準備

ICD-PCLINKソフトウェアをインストールする	11
インストールする	11
アンインストールする	14
付属の接続ケーブルをパソコンに接続する	16

基本操作:ICレコーダーとパソコン間で用件をやりとりする

ICD-PCLINKソフトウェアを起動する	17
メイン画面の各部の名前と働き	20
用件をパソコンに保存する	23
用件を1件ずつ保存する(一件保存)	24
1ファイル中の用件をすべて保存する(1ファイル保存)	28
A、B両方のファイルの用件をすべて保存する(全ファイル保存)	31
保存形式(ファイル形式)について	34
保存される場所とファイル名について	35
パソコンからICレコーダーに用件を呼び戻す	37
用件を1件ずつICレコーダーに戻す(1ファイル書き込み)	38
1フォルダ内の用件をすべてICレコーダーに戻す(1フォルダ書き込み)	41

パソコン上でICレコーダーの用件を編集する	44
用件を移動する	44
用件を消去する	46
用件のバックアップを取る(バックアップ保存)	51
パソコンにバックアップファイルを保存する	52
バックアップファイルをICレコーダーに呼び戻す(バックアップ書き込み)	54

応用操作：パソコンに保存した用件を活用する

用件をパソコン上で再生する	56
wavファイルとして保存した用件を再生する	56
icsファイルとして保存した用件を再生する(icsプレーヤー)	57
icsファイルをwavファイルに変換する(icsプレーヤー)	61
使いこなすためのヒント	62

その他

故障かな?	63
こんなときは	63
エラーメッセージ一覧	64
パソコン側のプリンターモードの設定を変更するには	66
索引	68
保証書とアフターサービス	70

■ ご注意

- ・本ソフトウェアは、この取扱説明書の画面と一部違うところがある場合があります。
- ・この取扱説明書は、お客様がWindows98またはWindows95の基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ・操作説明のイラストは、ICD-R100と接続した場合のものを使用しています。

▶ご使用になる前に

ソフトウェア使用許諾契約書

お買い上げいただきましたWindows用パソコン接続キットICKIT-W2に同梱されている、ソフトウェアプログラムおよびその使用説明書(以下併せて本ソフトウェア)は、ソニー株式会社(以下弊社)がその著作権を有しております。本ソフトウェアご使用前に以下の内容をご確認いただき、ご同意いただけましたら、同封の登録カードに必要事項をご記入の上、弊社までご送付ください。使用者登録をされることにより、弊社は、以下の条件にてその使用を許諾させていただき、サポートを提供させていただきます。

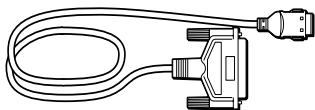
- 第1条 弊社は、登録カードに記載されたお客様(以下お客様)に対し、登録カードに記載された住所(但し日本国内に限ります)において、本ソフトウェアを、本機器を使用する目的で特定1台のコンピュータ機器上で使用する、非独占的な権利を許諾いたします。なお、お客様は、あらかじめ弊社に書面にて通知をすることにより、登録住所を変更することができます。
- 第2条 ①本ソフトウェアに物理的な欠陥(フロッピーディスクの破損など)があった場合は、お客様の本ソフトウェア購入日から90日間に限り、弊社は、無償で良品と交換させていただきます。
②弊社は、本ソフトウェアに関し、本条①に規定される以外のいかなる保証も行わないものとします。
- 第3条 ①お客様は、バックアップを保有する目的で1部複製する場合を除き、本ソフトウェアを複製しないものとします。
②お客様は、本ソフトウェアのソフトウェアプログラムにつき、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコードの解析を行わないものとします。
- 第4条 お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を、第三者に販売、賃貸、またはその他の処分を行わないものとします。また、本契約書でお客様に許諾される権利を第三者に譲渡したり、再許諾することもできないものとします。
- 第5条 お客様が本ソフトウェアを使用したため、お客様または第三者に発生した損害に関して、弊社はそのいかなる責任も負わないものとします。
- 第6条 お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合は、弊社は本契約を解除し、それによって被った損害の賠償をお客様に請求することができるものとします。その際、お客様は、本ソフトウェアの使用を直ちに中止し、本ソフトウェアをその複製物も含めて、速やかに弊社に返却するものとします。

以上

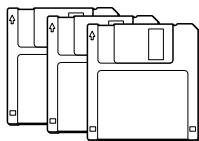
付属品を確かめる

梱包箱から取り出したら、次の付属品がそろっているか確認してください。付属品の中に不足しているものがあるときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

- 接続ケーブル(1本)



- フロッピーディスク(3枚)



- 取扱説明書(本書)(1部)
- 保証書(1部)
- ご愛用者登録カード(1部)
- ソニーご相談窓口のご案内(1部)

必要なシステム構成

付属のソフトウェアを使うためには、次のようなハードウェア、ソフトウェアが必要です。

以下の性能を満たしたIBM PC/ATおよびその互換機

- CPU：200MHz以上のPentium®プロセッサもしくは同等の性能を有するプロセッサ
- RAM容量：16Mバイト以上
- ハードディスクの空き容量：10Mバイト以上(音声データの扱い量に比例して多くの空き容量が必要です。)
- ドライブ：3.5型FDドライブ
- 通信ポート：パラレルポート(プリンターポート)*
- サウンドボード

OS：Microsoft Windows 98 またはWindows95(日本語版)

* 機種によって通信速度が異なります。

■ ご注意

パソコンによっては、プリンターポートのハードウェアの仕様が違うため、一部通信できない機種があります。

このソフトウェアでできること

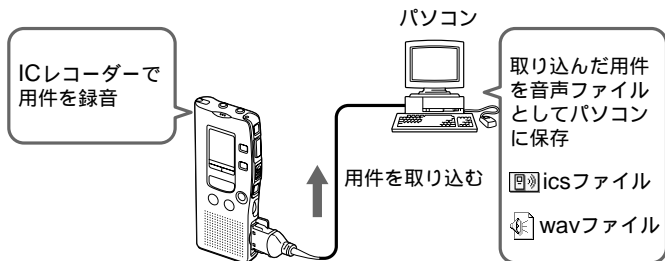
こんなことができます

このパソコン接続キットを使ってソニーICレコーダーとパソコンを接続すると、ICレコーダーに録音した用件をパソコンに取り込み、以下のようなことができます。

ICレコーダーで録音した用件をパソコンに取り込む
ICレコーダーに録音した用件をパソコンに取り込み、音声ファイルとしてハードディスクなどに保存できます。(23ページ)

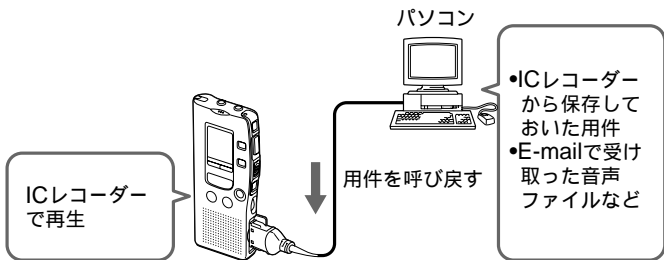
パソコンに保存した用件は、パソコン上で再生したり(56ページ)、E-mailに添付して声のメールを送ったり(62ページ)できます。(E-mailソフトは付属されていません。)

保存形式は、8bit wavファイル、16bit wavファイル、またはソニー独自の「icsファイル」から選べます。(34ページ)



パソコンに保存した用件をICレコーダーに呼び戻す
 一度パソコンに保存した用件をICレコーダーに呼び戻すことができます。
 (37ページ)

ICレコーダーに呼び戻した用件は、ICレコーダー上で再生できます。



ICレコーダーでご自分で録音した用件を、一度パソコンに保存してから、再度ICレコーダーに戻すことはもちろん、E-mail等で受け取った音声ファイル(ics形式またはwav形式*)を自分のICレコーダーに取り込むことができます。

*呼び戻せるのは、ソニーICレコーダーICD-R100/R200で録音したicsファイルとPCM 11kHz、8/16ビットモノラルのwavファイルのみです。

その他の便利な使いかた

ーパソコン上でICレコーダーの用件を編集できます。(44ページ)

ICレコーダー内の用件を、パソコン上で消去したり、順番を移動させたりできます。

- 用件のバックアップを取ることができます。(「バックアップ保存」, 51ページ)

ICレコーダー内の全用件をひとつのバックアップファイルとしてパソコンに保存し、それを再びICレコーダーに戻して再生できます。

操作の流れ

1 準備：パソコンにICD-PCLINKソフトウェアをインストールする

☞ 「ICD-PCLINKソフトウェアをインストールする」(11ページ)

2 ICレコーダーの用件をパソコンに取り込む

・ICレコーダーとパソコンを接続し、ICD-PCLINKソフトウェアを起動して用件をパソコンに取り込みます。用件はパソコンの画面に一覧表示されます。

☞ 「付属の接続ケーブルをパソコンに接続する」(16ページ)

☞ 「ICD-PCLINKソフトウェアを起動する」(17ページ)

3 ICD-PCLINKソフトウェアを使って用件のやりとりや加工をする

・用件をパソコンに保存したり、パソコンからICレコーダーに用件を呼び戻すことができます。

☞ 「用件をパソコンに保存する」(23ページ)

☞ 「パソコンからICレコーダーに用件を呼び戻す」(37ページ)

・パソコン上でICレコーダー内の用件の順番の変更や消去ができます。

☞ 「パソコン上でICレコーダーの用件を編集する」(44ページ)

・ICレコーダー内の全用件をひとつのバックアップファイルとしてパソコンに保存できます。

☞ 「用件のバックアップを取る(バックアップ保存)」(51ページ)

4 パソコンに保存した用件を活用する

・wavファイルまたはicsファイルとして活用できます。

☞ 「用件をパソコン上で再生する」(56ページ)

☞ 「使いこなすためのヒント」(62ページ)

ICD-PCLINKソフトウェアをインストールする

インストールする

ICD-PCLINKソフトウェアをパソコンのハードディスクなどにインストールします。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

■ ご注意

インストールするときは、Windowsの他のアプリケーションは終了させておいてください。

2 付属のフロッピーディスク①をフロッピーディスクドライブに挿入する。

3 [マイコンピュータ] [A: ¥3.5インチFD]を順に開く。

4 [setup.exe]をダブルクリックする。



[ICD-PCLINK インストールプログラム] (次ページ)が表示されます。

(次ページへ続く)

ICD-PCLINKソフトウェアをインストールする(つづき)



- 5
- ① [次へ]をクリックする。
はじめにお読みいただく文章が表示されます。
 - ② [次へ]をクリックする。
[インストール先ディレクトリの選択]ダイアログボックスが表示されます。
 - ③ インストール先のディレクトリーを指定し、[次へ]をクリックする。
[コンポーネントの選択]ダイアログボックスが表示されます。
 - ④ ICD-PCLINKをインストールする場合：
「ICD-PCLINK & ics-Player」を選ぶ。(ICD-PCLINKとicsプレーヤー(57ページ)の両方がインストールされます。
icsプレーヤー(57ページ)のみインストールする場合：
「ics-Player」を選ぶ。
 - ⑤ [次へ]をクリックする。
[インストールの準備を完了しました。]のメッセージが表示されます。
 - ⑥ [次へ]をクリックする。
インストールが始まります。

- 6 「ディスク#2をフロッピードライブに挿入し、「OK」ボタンをクリックしてください。」と表示されたら、2枚目のフロッピーディスクと交換し、[OK]をクリックする。
- 7 同様に画面に従って3枚目のフロッピーディスクと交換し、[OK]をクリックする。
インストールが終了すると次のダイアログボックスが表示されます。



- 8 [完了]をクリックする。
これでインストールは完了しました。

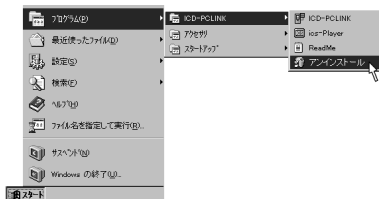
「システムを再起動する必要があります。」と表示されたときは、フロッピーディスクを抜いてから[OK]をクリックして、コンピューターを再起動してください。

ICD-PCLINKソフトウェアをインストールする(つづき)

アンインストールする

このソフトウェアが不要になった場合は、以下の手順で削除してください。

- 1 [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]→[ICD-PCLINK]→[アンインストール]を順に選ぶ。



アンインストーラーが起動されます。



2 画面に従って操作する。

ICD-PCLINKをインストールしていた場合は、ICD-PCLINKとicsプレーヤーの両方がアンインストールされます。

icsプレーヤーのみインストールしていた場合は、icsプレーヤーがアンインストールされます。

■ ご注意

このソフトウェアを一度インストールしたあと、別のドライブまたはフォルダに移動させる場合は、アンインストールしてから再度インストールを行ってください。ファイルを移動しただけでは、ソフトウェアは動作しなくなります。

- ④ [設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]でもアンインストーラーを起動することができます。

付属の接続ケーブルをパソコンに接続する

付属の接続ケーブルをパソコンの平行ポート(プリンターポート)に接続します。



■ ご注意

お使いのパソコンの機種によっては、平行ポート(プリンターポート)の設定をBI-DIRECTIONAL(バイディレクショナル、双方向)モードに変更する必要があります。詳しくは66ページをご覧ください。

▶基本操作:ICレコーダーとパソコン間で用件をやりとりする

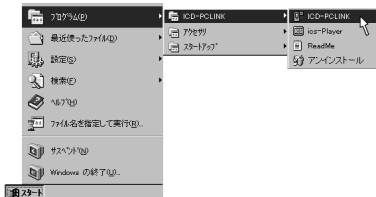
ICD-PCLINKソフトウェアを起動する

■ ご注意

ICD-PCLINKソフトウェアを使う前にパソコンに接続ケーブルを接続してください(16ページ)。

1 Windowsを起動する。

2 [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]→[ICD-PCLINK]→[ICD-PCLINK]を順に選ぶ。



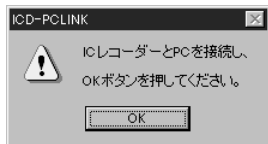
ICD-PCLINKソフトウェアが起動します。



(次ページへ続く)

ICD-PCLINKソフトウェアを起動する(つづき)

起動すると、次のダイアログボックスが表示されます。

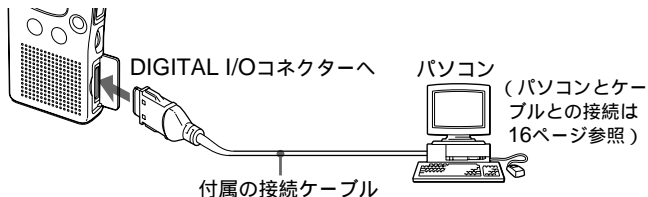


3 ICレコーダーをパソコンに接続する。

ICレコーダーを停止状態にして接続ケーブルをICレコーダーのDIGITAL I/Oコネクターに接続します。

■ ご注意

ICレコーダー本体の録音中、再生中やその他の操作中にはケーブルを接続しないでください。ICレコーダー内のデータがこわれる可能性があります。

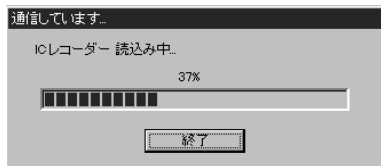


■ ご注意

- ICレコーダー本体をパソコンに接続したままの状態でも長時間放置すると、ICレコーダーの電池が消耗してしまいます。ご使用後は必ずICレコーダーから接続ケーブルをはずしてください。
- ICレコーダーをパソコンに接続している間は電池を抜かないでください。
- ICレコーダーをパソコンに接続している間は、ICレコーダー本体は使えません。アラームを設定していても、アラーム再生はされません。

4 [OK]をクリックする。

ICレコーダーのデータがパソコンに読み込まれます。



通信が完了すると、ICD-PCLINKメイン画面(20ページ)が表示されます。

「通信ができませんでした。ケーブルが正しく接続されているか確認してください。」と表示されたときは

通信エラー(接続エラー)です。以下のことを確認してから、最初からやり直してください。

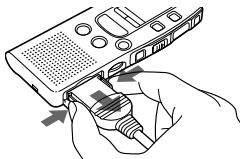
- ケーブルは正しく接続されていますか？
ケーブルとパソコンの接続(16ページ)、ICレコーダーとケーブルの接続(18ページ)を確認してください。
- ICD-PCLINKを起動する前に、パソコンのプリンターポート(16ページ)に接続したプリンターで印刷等を行ないませんでしたか？
コンピューターを再起動してみてください。それでもこのメッセージが出るときは、「故障かな?」(63ページ)を参照してください。

❏ ご注意

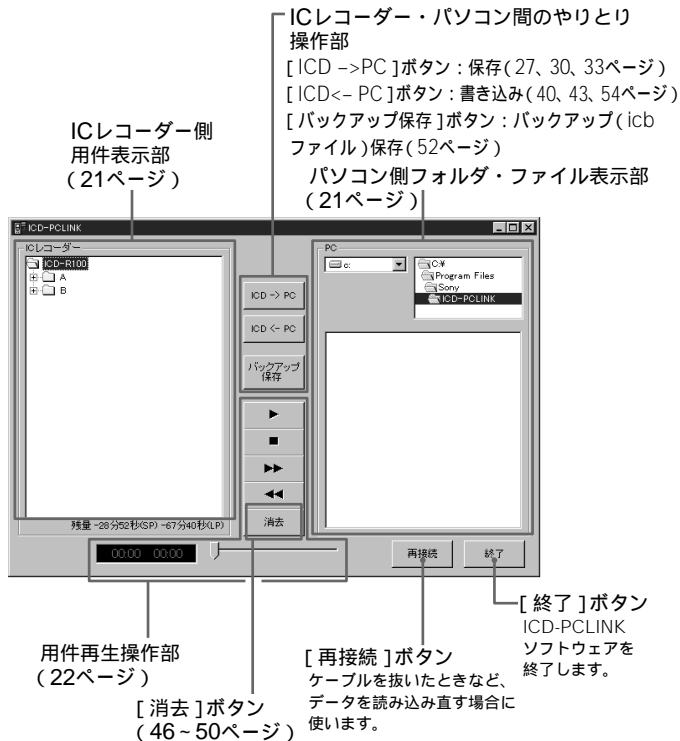
「電池確認」のエラーメッセージが出たときは、パソコンと接続して使うのに必要な電池残量がありません。接続ケーブルをICレコーダー本体から一度はずしてから、2本とも新しい乾電池に交換し、再び接続してください。

(ICレコーダー本体の表示窓の電池残量があってもパソコンと接続して使用するためには残量が不足している場合があります。)

ICレコーダーからケーブルをはずすには



メイン画面の各部の名前と働き



ICD-PCLINKソフトウェアを終了するには

[終了]ボタンをクリックする。

「ICレコーダーから接続ケーブルを抜いてください。」のメッセージが表示されます。必ずケーブルを抜いてください。

ICレコーダー側用件表示部

Aファイル

□ Aをダブルクリックするか、+をクリックすると、ファイル内の用件が一覧表示されます。

Bファイル

Bファイル内用件表示

01_1999/07/04 09:28

用件番号 録音日時(入っていない場合は表示されません。)

Aファイル内用件表示

録音日時 1999/07/04 09:27
録音時間 00分38秒
録音モード SP
アラーム 毎日 12:00

用件を右クリックすると、用件の録音日時、録音時間、録音モード(SPまたはLP)、アラーム設定が表示されます。

ICレコーダーの残り時間(SP、LP各モードでの録音可能時間)

残量 -28分52秒(SP) -67分40秒(LP)
00:00 00:00

パソコン(PC)側フォルダ・ファイル表示部

ドライブ

フォルダの階層

録音日時 1999/07/04 09:27
録音時間 00分38秒
録音モード SP
アラーム なし

フォルダ、音声ファイル表示部

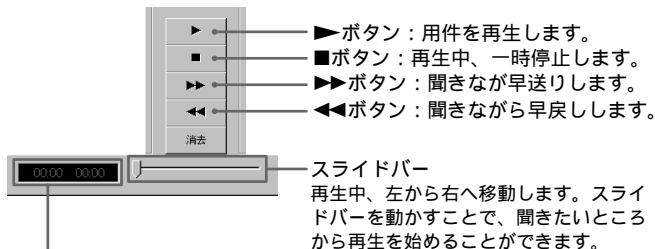
- icsファイル(拡張子 .ics)
- wavファイル(拡張子 .wav)
- icbファイル(拡張子 .icb)

icsファイルを右クリックすると、用件の録音日時、録音時間、録音モード(SPまたはLP)、アラーム設定(常に「なし」)が表示されます。

- フォルダ、音声ファイル表示部
- icsファイル(拡張子 .ics)
 - wavファイル(拡張子 .wav)
 - icbファイル(拡張子 .icb)

メイン画面の各部の名前と働き(つづき)

用件再生操作部

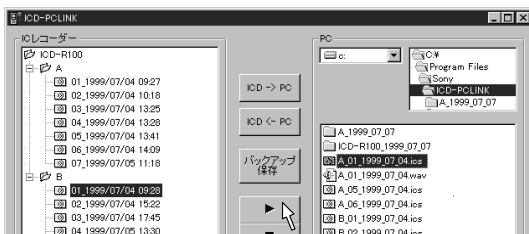


カウンター表示

左：用件の録音時間

右：再生中の経過時間

ICD-PCLINKメイン画面で、ICレコーダー内の用件およびパソコンに保存した用件を再生できます。再生音はパソコンのスピーカーから聞こえます。再生するには、「ICレコーダー用件表示部」の用件または「PC」側のicsファイルまたはwavファイルを選び、▶ボタンをクリックします。(用件またはics、wavファイルを選んでダブルクリックしても再生できます。)



■ ご注意

この画面で再生できるwavファイルは、PCM 8/11kHz、8/16ビットモノラルのみです。それ以外のwavファイルはここでは再生できません。

用件をパソコンに保存する

用件はパソコンのハードディスクなどに音声ファイルとして保存できます。保存形式は「icsファイル」(ソニー独自の音声ファイル形式)、「8ビットwavファイル」または「16ビットwavファイル」から選べます。(詳しくは34ページ参照)

保存には以下の3通りあります。

- 「1件保存」(24ページ)
- 「1ファイル保存」(28ページ)
- 「全ファイル保存」(31ページ)

☞ 「バックアップ保存」をするときは、51ページをご覧ください。
ICレコーダー内の全用件をそのままバックアップとして保存しておくときには、「バックアップ保存」をお勧めします。


用件を1件ずつ保存する(一件保存)

マウスを使って「ドラッグアンドドロップ」する方法と、画面上の [ICD → PC] ボタンを押す方法の2通りあります。

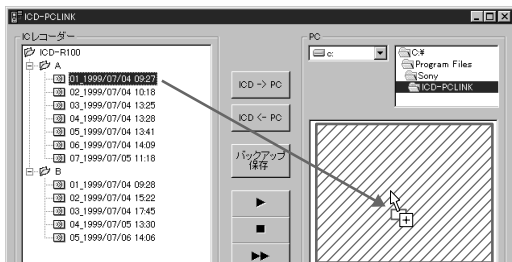
ここでは、「ドラッグアンドドロップ」の方法を説明します。

1 「ICレコーダー」側に表示されている用件から、保存したい用件を選び、「PC」側にドラッグアンドドロップする。

①保存したい用件をドラッグ*する。

ドラッグすると、ポインターが  に変わります。

* ドラッグ：クリックしたままマウスを動かす。



②「PC」側でドロップ*する。

「PC」側の上図の斜線の範囲内であれば、どこでドロップしてもかまいません。

* ドロップ：マウスボタンから指を離す。

☞ ドロップする場所について

「PC」側のフォルダにドロップして、そのフォルダの中に保存することもできます。

次のダイアログボックスが表示されます。



保存する場所、ファイル名を変更する場合は、ここで変更してください。

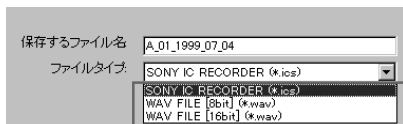
[新規フォルダ]ボタンをクリックし、新しいフォルダを作って保存することもできます。

■ ご注意

ファイル名には以下の文字、記号は使用できません。

¥ / : * ? " < > |

③ 保存形式 (34ページ) を選ぶ。

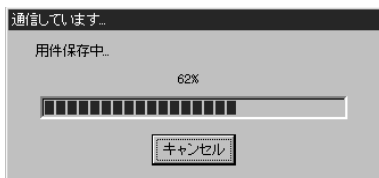


icsファイル、8bit wavファイル、
16 bit wavファイルから選びます。

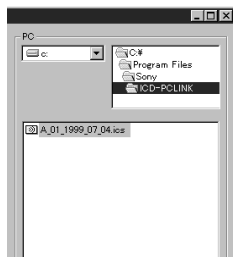
(次ページへ続く)

用件をパソコンに保存する(つづき)

2 [保存]をクリックする。

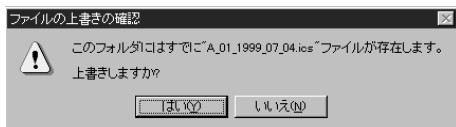


「PC」側に保存されたファイルが表示されます。



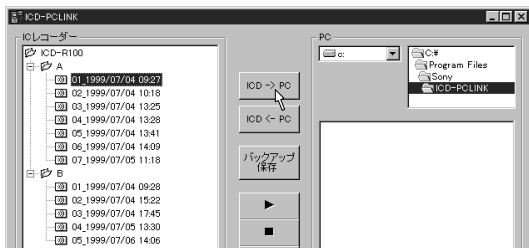
すでに同じ名前の用件が保存されているときは
次のダイアログボックスが表示されます。

上書きするときは[はい]を、ファイル名を変更するときは[いいえ]をクリックしてください。



[ICD ->PC]ボタンで保存するには

保存したい用件をクリックして選び、[ICD ->PC]ボタンをクリックします。



用件をパソコンに保存する(つづき)

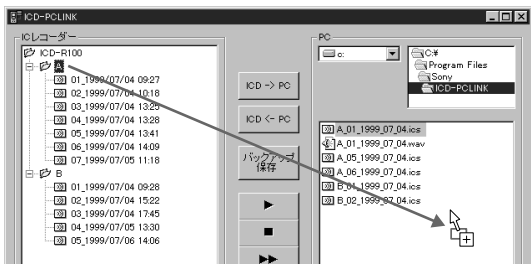
1ファイル中の用件をすべて保存する(1ファイル保存)

ICレコーダー側のAファイルまたはBファイル内のすべての用件を一度に保存できます。AまたはBファイルごとにひとつのフォルダとして保存されます。

2通りの方法がありますが、ここでは「ドラッグアンドドロップ」を説明します。

1 「ICレコーダー」側の「A」または「B」を選び、「PC」側にドラッグアンドドロップする。

24ページ「1件保存」と同様にドラッグアンドドロップしてください。



次ページのダイアログボックスが表示されます。

保存される
場所



保存されるフォルダ名(35ページ)

保存形式(34ページ)を選びます。(フォルダ内のすべての用件が同じファイル形式になります。)

保存する場所、フォルダ名(35ページ)を変更する場合は、ここで変更してください。

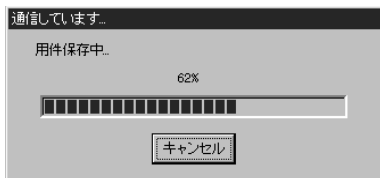
[新規フォルダ]ボタンをクリックし、新しいフォルダを作って保存することもできます。

■ ご注意

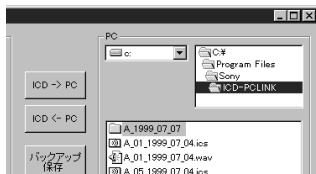
フォルダ名には以下の文字、記号は使用できません。

¥ / : * ? " < > |

2 [保存]をクリックする。



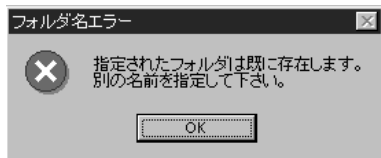
「PC」側に保存されたフォルダが表示されます。



用件をパソコンに保存する(つづき)

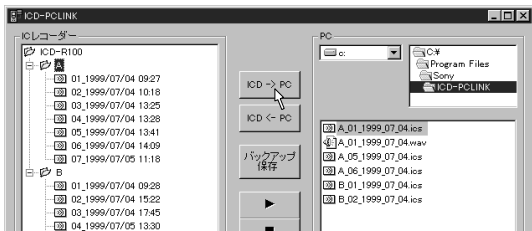
すでに同じ名前のフォルダが保存されているときは次のダイアログボックスが表示されます。

[OK]をクリックして、フォルダ名を変更してから、もう一度[保存]をクリックしてください。



[ICD →PC]ボタンで保存するには

ICレコーダー側の「A」または「B」をクリックして選び、[ICD →PC]ボタンをクリックします。



A、B両方のファイルの用件をすべて保存する(全ファイル保存)

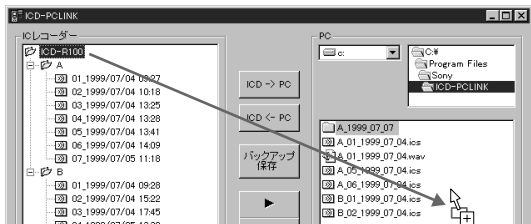
ICレコーダー側のA、B両方のファイル内の用件をすべて一度に保存できます。AとBの2つのフォルダを持つ1つの大きなフォルダとして保存されます。

2通りの方法がありますが、ここでは「ドラッグアンドドロップ」を説明します。

1 「ICレコーダー」側の「ICD-R100*」を「PC」側にドラッグアンドドロップする。

24ページ「1件保存」と同様にドラッグアンドドロップしてください。

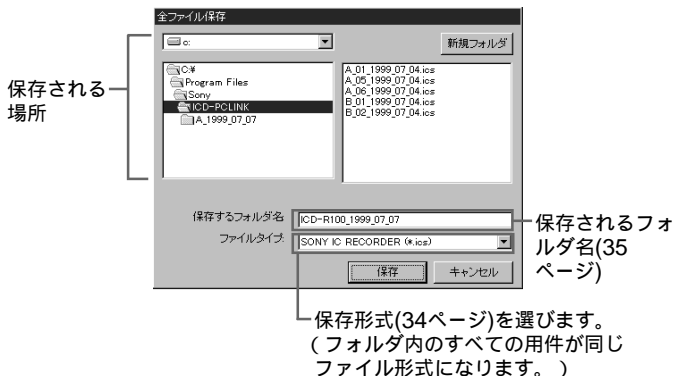
* ICD-R200を接続している場合は「ICD-R200」



(次ページへ続く)

用件をパソコンに保存する(つづき)

次のダイアログボックスが表示されます。



保存する場所、フォルダ名(35ページ)を変更する場合は、ここで変更してください。

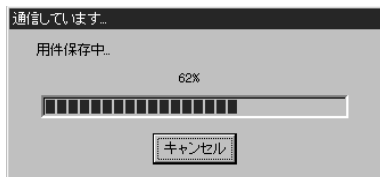
[新規フォルダ]ボタンをクリックし、新しいフォルダを作って保存することもできます。

■ ご注意

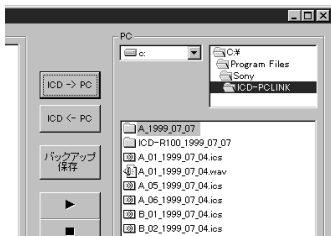
フォルダ名には以下の文字、記号は使用できません。

¥ / : * ? " < > |

2 [保存]をクリックする。

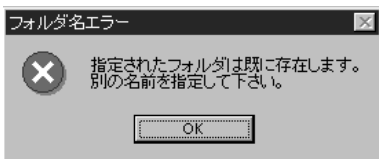


「PC」側に保存されたフォルダが表示されます。



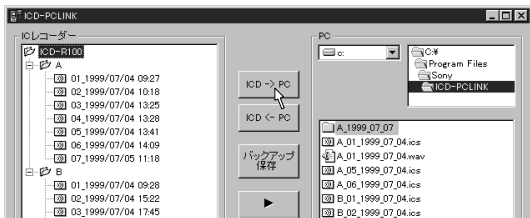
すでに同じ名前のフォルダが保存されているときは次のダイアログボックスが表示されます。

[OK]をクリックしてフォルダ名を変更してから、もう一度[保存]をクリックしてください。



[ICD ->PC]ボタンで保存するには

「ICレコーダー」側の「ICD-R100」(または「ICD-R200」)をクリックして選び、[ICD ->PC]ボタンをクリックします。



保存形式(ファイル形式)について

ICD-PCLINKソフトウェア上では、同じように再生できますが、各ファイル形式により以下の違いがあります。

- icsファイル形式(SONY IC RECORDER (*.ics))
ソニー独自の音声ファイル形式です。付属の専用ソフトウェア「icsプレーヤー」で再生できます。(57ページ)
音声圧縮された状態になるので、少ない容量で保存することができます。また、icsファイルで保存したときのみ、ICレコーダーに再び呼び戻す(37ページ)ことができます。
icsファイルで保存した用件をwavファイルに変換することもできます。(61ページ)
- 8ビットwavファイル形式(WAV FILE[8bit])(*.wav)
サウンドレコーダーなど、Windows95またはWindows98に付属しているソフトウェアで再生できます。
- 16ビットwavファイル形式(WAV FILE[16bit])(*.wav)
サウンドレコーダーなど、Windows95またはWindows98に付属しているソフトウェアで再生できます。16ビットwavファイルを必要とするソフトウェアを使用する場合は、この形式で保存してください。

以下の数字は、各ファイル形式でパソコン上に用件を保存した場合のファイルサイズ(容量)の目安です。

SPモードで録音した1分間の用件をパソコンに保存した場合

icsファイル：約248 Kバイト

8ビットwavファイル：約660 Kバイト

16ビットwavファイル：約1320 Kバイト

SPモードで録音した64分間の用件をパソコンに保存した場合

icsファイル：約15.6 Mバイト

8ビットwavファイル：約43 Mバイト

16ビットwavファイル：約86 Mバイト

LPモードで録音した150分間の用件をパソコンに保存した場合

icsファイル：約15.6 Mバイト

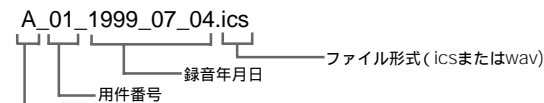
8ビットwavファイル：約72 Mバイト

16ビットwavファイル：約144 Mバイト

保存される場所とファイル名について

用件には、以下のようなファイル名、フォルダ名が自動的につけられ、保存されます。(以下は一例です。)

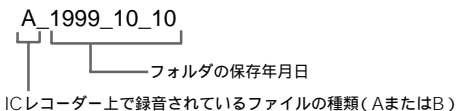
1件保存(24ページ)した用件につくファイル名



ICレコーダー上で録音されているファイルの種類(AまたはB)

(録音年月日が記録されていない場合はA_01.icsなどとなります。)

1ファイル保存(28ページ)したときにつくフォルダ名



フォルダ内の各用件には、1件保存と同様のファイル名がつきます。

全ファイル保存(31ページ)したときにつくフォルダ名



フォルダ内には、1ファイル保存と同様のフォルダ名(A、B各ファイル用)が、各用件には1件保存と同様のファイル名がつきます。

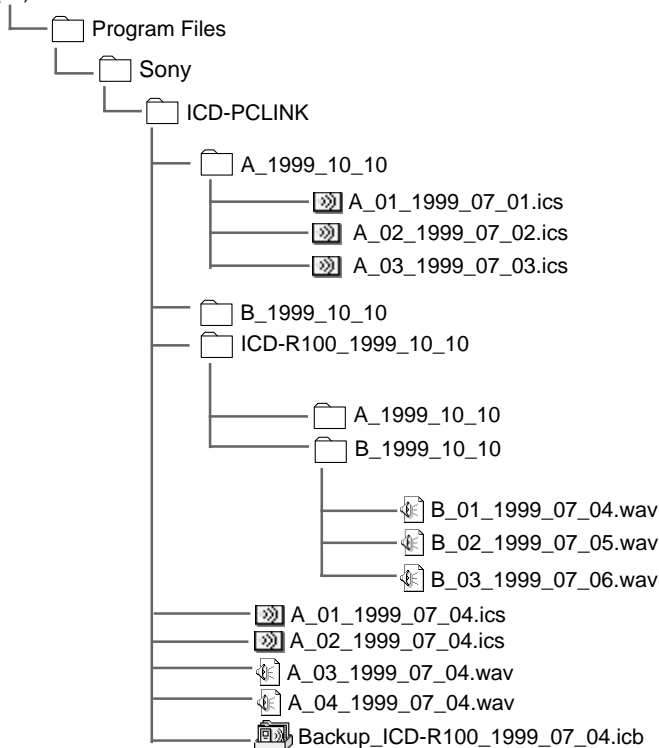
☞ Backupファイルについては、「用件のバックアップを取る(バックアップ保存)」(51ページ)をご覧ください。

(次ページへ続く)

用件をパソコンに保存する(つづき)

保存される場所(以下は一例です。)

(C:)ドライブ



- Sonyフォルダ、ICD-PCLINKフォルダは、本ソフトウェアをインストールすると自動的に作成されます。
- 1件保存をした用件は、ICD-PCLINKフォルダに保存されます。
- 1ファイル、または全ファイル保存をすると、新たにフォルダが作成されます。

パソコンからICレコーダーに用件を呼び戻す

パソコンに保存した用件をICレコーダーに呼び戻す(コピーする)ことができます。1件ずつ(「1ファイル書き込み」、38ページ)または1フォルダ内の用件を一度に(「1フォルダ書き込み」、41ページ)書き込めます。

- 呼び戻した用件はICレコーダー内の他の用件と同様に再生できます。
- 録音日時、録音モードなどの情報もそのまま呼び戻されます。ファイル名を変更して保存した用件についても同様です。(録音日時はicsファイルの場合のみ)
- 呼び戻した用件のアラーム設定は解除されています。

■ ご注意

ICレコーダーのメモリーいっぱいまで録音されているときや、呼び戻すと99件(各AまたはBファイルにつき)を超えてしまう場合は、用件を呼び戻すことはできません。用件をいくつか消去してから、操作し直してください。

呼び戻せるファイル形式について

ICレコーダーに呼び戻せるのは、以下の音声ファイルのみです。

- icsファイル(ソニーICD-R100/R200で録音したもののみ):
「1ファイル書き込み」「1フォルダ書き込み」ともに可能です。
- wavファイル(PCM 11kHz、8/16ビットモノラルのみ*):
「1ファイル書き込み」でのみ可能です。

*本ソフトウェアを使ってSPモードの用件を8ビットまたは16ビットwavファイル形式(34ページ)で保存した場合など。LPモードの用件の場合は、8kHzになり、そのままでは呼び戻せません。39ページの方法で変換してください。

パソコンからICレコーダーに用件を呼び戻す(つづき)

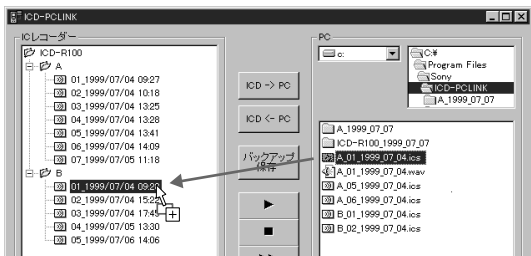
用件を1件ずつICレコーダーに戻す(1ファイル書き込み)

パソコンに保存した用件をひとつずつ(icsまたはwavファイルを1ファイルずつ)ICレコーダーに呼び戻せます。

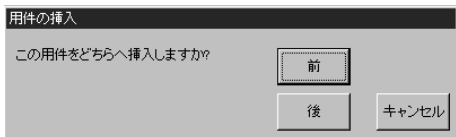
2通りの方法がありますが、ここでは「ドラッグアンドドロップ」を説明します。

- 1 「PC」側に表示されている用件から、呼び戻したい用件を選び、「ICレコーダー」側にドラッグアンドドロップする。呼び戻したい位置(用件)に合わせてドロップします。

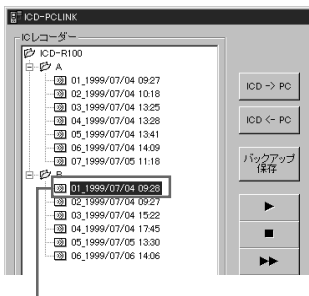
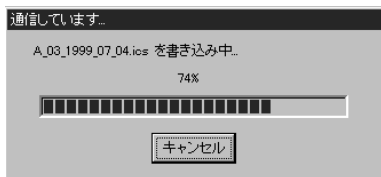
例:「A_01_1999_07_04.ics」というファイルをICレコーダーのBファイルの1件目に戻す場合



次のダイアログボックスが表示されます。



- 2 指定した用件の前に挿入するときは[前]を、後ろに挿入するときは[後]をクリックする。
(この例では[前]をクリックします。)



Bファイルの1件目に書き込まれました。

「ファイル形式エラー」が表示されたときは
ICレコーダーに呼び戻せないファイル形式です。

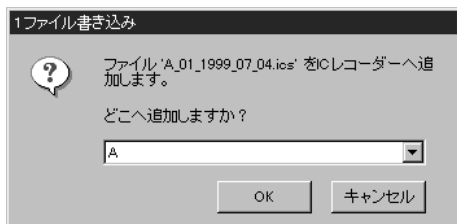
wavファイルの場合は、PCM 11.025kHz、8または16ビット、モノラルに変換すれば呼び戻せます。

変換するには、Microsoftサウンドレコーダー(Windowsに搭載)の「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」の画面を開き、形式の「変更」を選んで保存しなおしてください。

(次ページへ続く)

パソコンからICレコーダーに用件を呼び戻す(つづき)

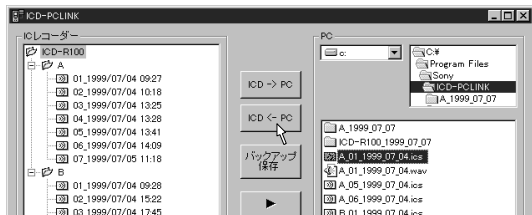
- ☞ 書き込み先を「ICレコーダー」側の「A」または「B」に指定した場合はAファイルまたはBファイルの最後の用件として追加されます。
- ☞ 書き込み先を指定しなかった場合(「ICレコーダー」側のどこかの場所でドロップした場合は)次のダイアログボックスが表示されます。



書き込み先のファイル(AまたはB)を選び、[OK]をクリックします。
選んだファイルの最後の用件として追加されます。

[ICD← PC]ボタンで書き込むには

- 1 呼び戻したい用件をクリックして選び、[ICD← PC]ボタンをクリックする。



- 2 上記「書き込み先を指定しなかった場合」と同じ画面で、書き込み先のファイル(AまたはB)を選び、[OK]をクリックする。

1フォルダ内の用件をすべてICレコーダーに戻す (1フォルダ書き込み)

「1ファイル保存」(28ページ)などでパソコンに「フォルダ」として用件が保存されている場合、そのフォルダ内の用件を一度に全部呼び戻すことができます。

■ ご注意

- 呼び戻せるのはフォルダの中にあるicsファイルのみです。
- 「全ファイル保存」(31ページ)をした場合、「ICD_R100_1999_07_04」などのフォルダをそのまま呼び戻すことはできません。その中のフォルダ「A_1999_07_04」をICレコーダーのAファイルへ、フォルダ「B_1999_07_04」をICレコーダーのBファイルへ、それぞれ書き込みを行ってください。
- その他の場合でも、フォルダの中で、すぐ下の階層にicsファイルがある場合のみ、フォルダ内のicsファイルをICレコーダーに書き込むことができます。すぐ下の階層がicsファイルではなくフォルダの場合、そのフォルダ内にicsファイルがあっても書き込みはできません。
- wavファイルは、呼び戻せる形式(37ページ)のファイルでも、「1フォルダ書き込み」を行なうと書き込めません。そのフォルダの中のicsファイルのみ書き込まれます。

2通りの方法がありますが、ここでは「ドラッグアンドドロップ」を説明します。

1 「PC」側のフォルダを選び、「ICレコーダー」側にドラッグアンドドロップする。

呼び戻したい位置に合わせてドロップします。

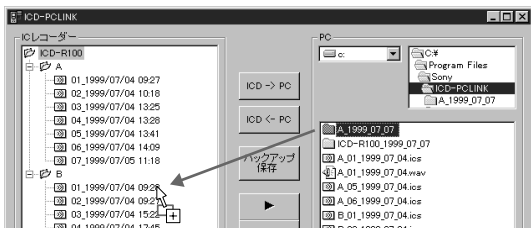
この例では「ICレコーダー」側の「Bファイル」を指定します。

「B」に合わせても、「Bファイル」の用件表示部分のどこかに合わせても同じです。

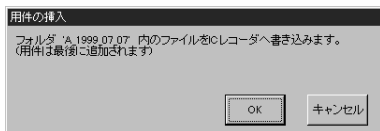
(次ページへ続く)

パソコンからICレコーダーに用件を呼び戻す(つづき)

例：フォルダ「A_1999_07_04」をICレコーダーのBファイルに戻す場合



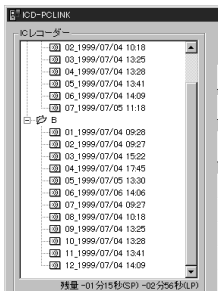
次のダイアログボックスが表示されます。



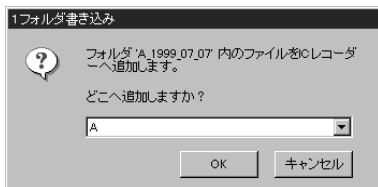
2 [OK]をクリックする。



呼び戻したフォルダ内の用件は、指定したファイルの最後の用件の後ろに追加されます。



- ④ 書き込み先を指定しなかった場合(「ICレコーダー」側のどこかの場所でドロップした場合は)は次のダイアログボックスが表示されます。

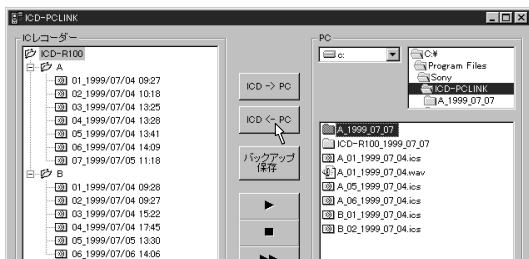


書き込み先のファイル(AまたはB)を選び、[OK]をクリックします。

フォルダ内の用件は、手順2で選んだファイルの最後の用件の後ろに追加されます。

[ICD← PC]ボタンで書き込むには

- 1 呼び戻したいフォルダをクリックして選び、[ICD← PC]ボタンをクリックする。



- 2 上記「書き込み先を指定しなかった場合」と同じ画面で、書き込み先のファイル(AまたはB)を選び、[OK]をクリックする。

■ ご注意

フォルダ内にwavファイルなどが混ざっていたり、ICレコーダー側の容量が不足しているときは、フォルダ内の一部の用件のみ書き込んだ後、エラーメッセージが表示されます。

wavファイルを呼び戻したい場合は、「1ファイル書き込み」(38ページ)の方法で行なってください。

パソコン上でICレコーダーの用件を編集する

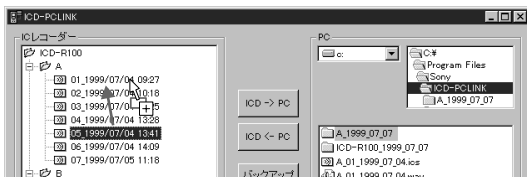
ICD-PCLINKソフトウェアの画面上で、ICレコーダー内の用件を並び替えたり、消去したりすることができます。(インデックスの追加や削除はできません。)

用件を移動する

ICレコーダー内の用件を移動し、順番を変えることができます。同じファイル内で位置を移動することも、他のファイルに位置を指定して移動することもできます。

例：Aファイルの5件目の用件を1件目に移動する場合

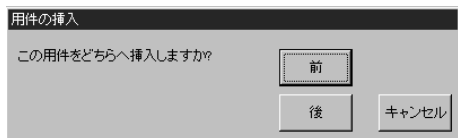
- 1 ICレコーダー側の用件の中で移動したい用件を選び、移動したい位置までドラッグアンドドロップする。
 - ①呼び戻したい用件を選び、ドラッグする。



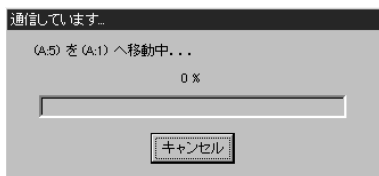
- ②挿入したい位置でドロップする。



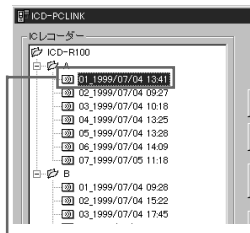
次のダイアログボックスが表示されます。



- 2 指定した用件の前に挿入するときは[前]を、後ろに挿入するときは[後]をクリックします。
この例では[前]をクリックします。



移動後、用件番号はつけ替わります。



Aファイルの1件目に移動しました。

パソコン上でICレコーダーの用件を編集する(つづき)

用件を消去する

「ICレコーダー」側の用件を1件ずつ、または1ファイル内の全用件を一度に消去することができます。

また、「PC」側のicsファイル、wavファイルをひとつずつ消去できます。(50ページ)

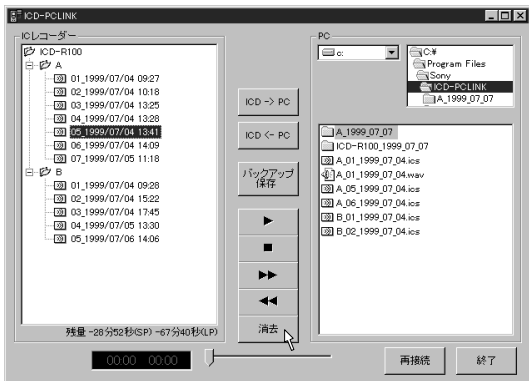
■ ご注意

- 「ICレコーダー」側の「ICD-R100」(または「ICD-R200」)を指定してA、B両方のファイルを一度に消去することはできません。
- 「PC」側でフォルダを消去することはできません。

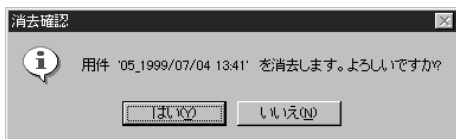
ICレコーダー側の用件を1件ずつ消去する

1 消去したい用件を選び、[消去]ボタンをクリックする。

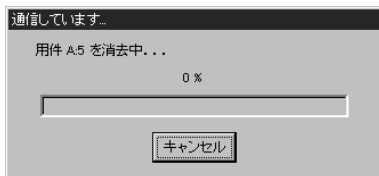
例：Aファイルの用件05を消去する場合



次のダイアログボックスが表示されます。



- 2 消去して良い場合は、[はい]をクリックします。
次の表示が出て、消去が始まります。



用件の消去が完了すると、そのあとの用件番号が繰り上がります。

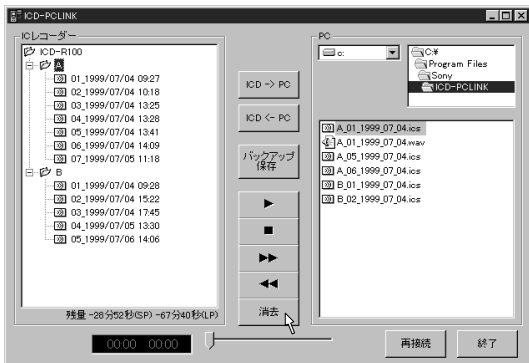


パソコン上でICレコーダーの用件を編集する(つづき)

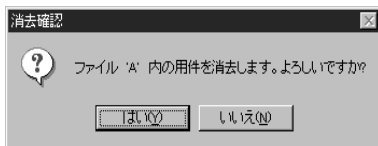
ICレコーダー側の用件をファイルごと消去する

- 1 消去したいファイルを選び、[消去] ボタンをクリックする。

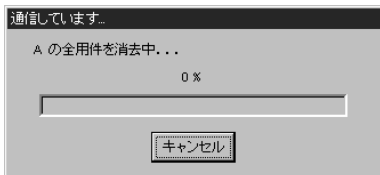
例：Aファイルの用件をすべて消去する場合



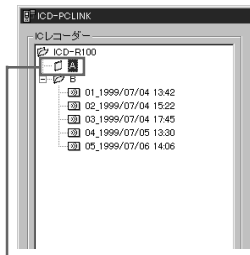
次のダイアログボックスが表示されます。



- 2 消去して良い場合は、[はい] をクリックする。
次の表示が出て、消去が始まります。



指定したファイル内の用件がすべて消去されました。



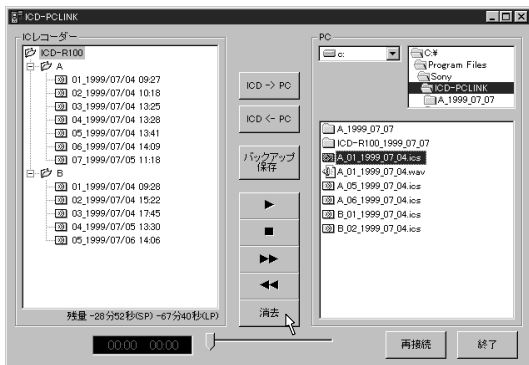
ファイル名(A)は残りますが、用件はすべて消去されました。

パソコン上でICレコーダーの用件を編集する(つづき)

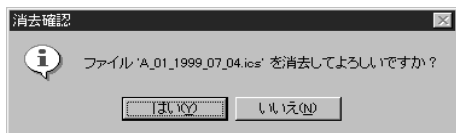
「PC」側の用件(icsファイル、wavファイル、icbファイル)を消去する

パソコンに保存した音声ファイル(icsファイル、wavファイル)またはバックアップファイル(icbファイル、51ページ)をひとつずつ消去できます。なお、フォルダは消去できません。

1 消去したいファイルを選び、[消去]ボタンをクリックする。



次のダイアログボックスが表示されます。



2 消去して良い場合は、[はい]をクリックする。

用件のバックアップを取る (バックアップ保存)

ICレコーダー内の全用件をひとつのバックアップファイルとしてパソコンに保存することができます。バックアップファイルは「icbファイル」という特別なファイル形式で保存されています。

icbファイルとは？

- ソニー独自のバックアップ用の圧縮ファイル形式です。ICレコーダー内の用件をまるごと一度に保存できます。(52ページ)
- そのままの状態では、中身を確認したり、再生したりすることはできませんが、ICレコーダーに呼び戻せば(54ページ)、再生することができます。その際、A、Bファイルの別、用件番号、録音日時およびアラーム設定もそのまま呼び戻せます。
- icbファイルのサイズ(容量)は、録音内容にかかわらず、一定です。(ICD-R100の場合：約16.5Mバイト、ICD-R200の場合：約33.0Mバイト)

■ ご注意

ICD-R200で作成したバックアップファイルをICD-R100へ呼び戻す場合、ICD-R100の容量を超える分は呼び戻せません。

また、その場合はアラーム設定が呼び戻されませんので、ご注意ください。

用件のバックアップを取る(つづき)

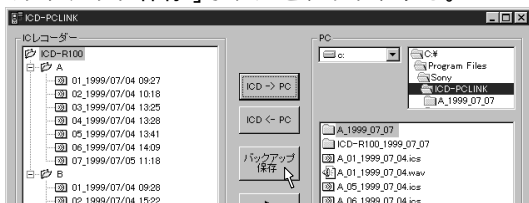
パソコンにバックアップファイルを保存する

■ ご注意

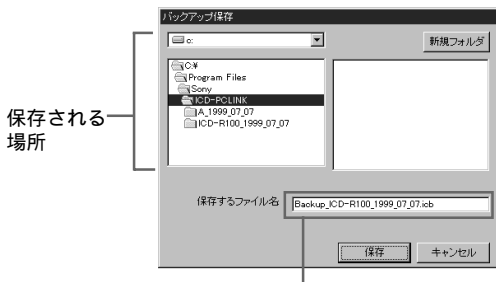
バックアップ保存するパソコンのハードディスクなどに16.5Mバイト*以上の空き容量が必要です。また、その後バックアップファイルをICレコーダーに戻す(54ページ)ときにその時点でのICレコーダーの録音内容のバックアップも取る場合は、さらに16.5Mバイト*以上の空き容量が必要です。

* ICD-R200の場合は33.0Mバイト以上の空き容量が必要です。

1 [バックアップ保存]ボタンをクリックする。



次のダイアログボックスが表示されます。



バックアップ保存したファイルのファイル名は以下のようになります。

Backup_ICD-R100_1999_07_07.icb

または

Backup_ICD-R200_1999_07_07.icb

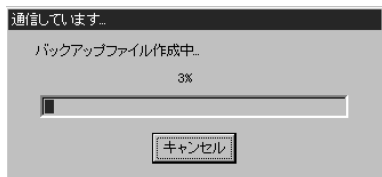
保存年月日 バックアップファイルの拡張子*

保存する場所、ファイル名を変更する場合は、ここで変更してください。
[新規フォルダ]ボタンをクリックし、新しいフォルダを作って保存することもできます。

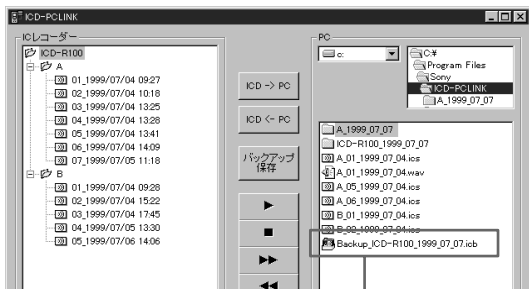
* 拡張子は変更できません。

ファイル名を変えて拡張子を省略しても、「.icb」の拡張子が付きます。

2 [保存]をクリックする。



バックアップファイルが作成され、保存されます。



バックアップファイル

すでに同じ名前のバックアップファイルが保存されているときは次のダイアログボックスが表示されます。

上書きするときは[はい]を、ファイル名を変更するときは[いいえ]をクリックしてください。



用件のバックアップを取る(つづき)

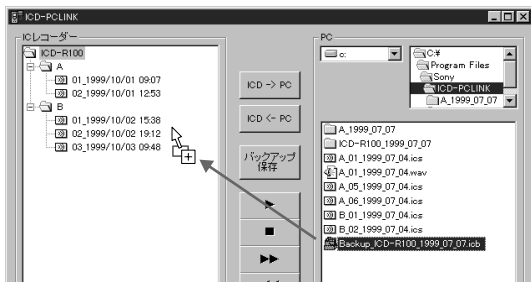
バックアップファイルをICレコーダーに呼び戻す (バックアップ書き込み)

パソコンに保存したバックアップファイル(icbファイル)を、ICレコーダーに呼び戻すと、ICレコーダーの用件として再生することができます。一度の操作でAファイル、Bファイルそれぞれに呼び戻せます。

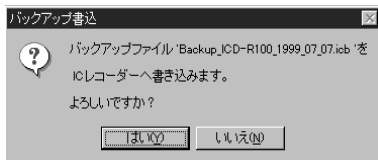
ICレコーダーに呼び戻すとき、受け側のICレコーダーに用件が録音されている場合は、その用件のバックアップファイルを取ってから書き込みが始まります。(次ページ手順3参照)

1 「PC」側に表示されているバックアップファイル(icbファイル)を選び、「ICレコーダー」側にドラッグアンドドロップする。

[ICD ← PC]ボタンをクリックしても、同じように操作できます。

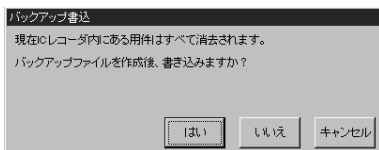


次のダイアログボックスが表示されます。



2 [はい]をクリックする。

次のダイアログボックスが表示されます。



3 [はい]または[いいえ]をクリックする。

[はい]を選ぶと、現在ICレコーダーに録音されている用件をバックアップファイルにして保存(52ページ)してから、ICレコーダーの中の用件を入れ替えます。

[いいえ]を選ぶと、現在ICレコーダーに録音されている用件のバックアップは取らず、上書きします。

4 ◀ [はい]を選んだ場合：

新たなバックアップファイルを保存するための[バックアップ保存]ダイアログボックスが表示されます。(52ページ参照)

保存場所とファイル名を変更する場合はここで変更してください。

[保存]をクリックしてください。

53ページと同様にバックアップ保存されたのち、バックアップ書き込みが始まります。

◀ [いいえ]を選んだ場合：

すぐにバックアップ書き込みが始まります。

バックアップ書き込みが終わると、書き込んだ内容がバックアップファイルの「ICレコーダー」側に呼び戻されます。

▶応用操作：パソコンに保存した用件を活用する

用件をパソコン上で再生する

wavファイルとして保存した用件を再生する

wavファイル形式で保存した用件は、サウンドレコーダー(Windowsに搭載)など、wavファイルを再生できるソフトウェアを使って再生することができます。

wavファイルを再生するには

聞きたい用件のファイルをダブルクリックします。



サウンドレコーダーなどのソフトウェアが起動し、再生が始まります。

■ ご注意

サウンドレコーダーがインストールされていない場合は、お手持ちのWindows95または98からサウンドレコーダーのインストールをしてください。

icsファイルとして保存した用件を再生する (icsプレーヤー)

icsファイルはソニー独自の音声ファイル形式です。再生するには、ICD-PCLINKソフトウェアを起動した状態で再生(22ページ)するか、下記または58ページの方法で「icsプレーヤー」を起動してください。

- ④ icsプレーヤーはICD-PCLINKをインストールすると、自動的にインストールされます。また、icsプレーヤーを単独でインストールすることもできます。(12ページ)

icsファイルを再生するには
聞きたい用件のファイルをダブルクリックします。



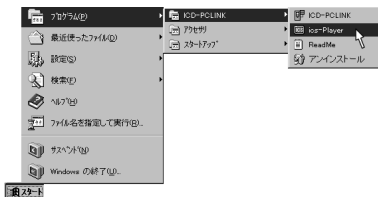
icsプレーヤーが起動し、再生が始まります。

(次ページへ続く)

用件をパソコン上で再生する(つづき)

icsプレーヤーを起動するには
57ページの方法でも起動できます。

- 1 [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]
[ICD-PCLINK] [ics-Player]を順に選ぶ。



ics プレーヤーが起動します。



- 2 ファイルメニューから「ファイルを開く」を選ぶ。

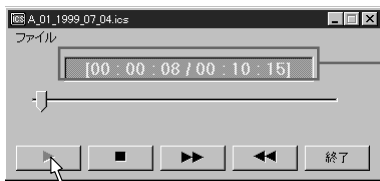


次の画面が表示されます。



- 3 再生したい用件のファイルを選び[開く]をクリックする。またはファイルをダブルクリックする。
icsプレーヤー上に選んだファイル名が表示されます。

- 4 [▶](再生)ボタンをクリックする。



— カウンター表示
左：再生の経過時間
右：録音時間

再生が始まります。

再生中はスライダーが左から右へ移動します。

(次ページへ続く)

用件をパソコン上で再生する(つづき)

再生を止めるには

[■](停止)ボタンをクリックする。

用件を聞きながら早送り/早戻しするには

[▶▶](キュー)ボタンまたは[◀◀](レビュー)ボタンをクリックする。

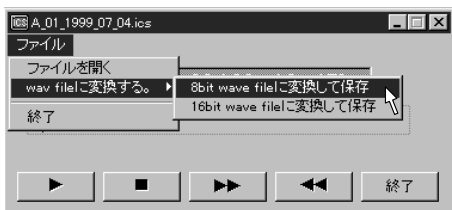
icsプレーヤーを終了するには

[終了]ボタンをクリックする。

icsファイルをwavファイルに変換する (icsプレーヤー)

ics プレーヤーを起動した状態で、icsファイルを8ビットwavファイルまたは16ビットwavファイル(34ページ参照)に変換することができます。

- 1 58ページの手順1の後、ファイルメニューから、[wav ファイルに変換する]を選び、さらに[8bit wav fileに変換して保存]または[16bit wav fileに変換して保存]を選ぶ。



次のダイアログボックスが表示されます。



保存する場所、ファイル名を変更する場合は、ここで変更してください。

- 2 [保存]をクリックする。

使いこなすためのヒント

E-mailに添付するには

お使いのE-mailソフトの「書類の添付」などの機能を使えば、パソコンに保存した用件をE-mailに添付して送ることができます。

ただし、この場合、受け取る相手も送った音声ファイルを再生できるアプリケーションを持っているか確認してください。

また、添付するファイルのサイズ(容量)には十分ご注意ください。(34ページ参照。)

wavファイルで送る場合：

- 受け取る相手もWindowsのサウンドレコーダーなど、wavファイルを再生できるソフトを持っている必要があります。(56ページ)
- icsファイルもwavファイルに変換して送ることができます。(61ページ)

icsファイルで送る場合：

受け取る相手もICD-PCLINKソフトウェアまたはics プレーヤー(57ページ)をインストールしていれば、icsファイルを再生することができます。

用件の入っているフォルダに簡単にアクセスするには

ICD-PCLINKフォルダや、特によく使うフォルダのショートカットを作成して、デスクトップに置いておくと、簡単に探すことができます。

▶その他

故障かな？

こんなときは

サービス窓口にご相談になる前にもう1度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときはお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。ICレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

症状	原因/対策
インストールできない。	<ul style="list-style-type: none">ハードディスクの空き容量が少ない。容量を確認してください。
ICレコーダーに録音した用件が読み込めない。	<ul style="list-style-type: none">インストールやケーブルの接続を正しく行なったか確認してください。64ページ「エラーメッセージ一覧」参照。
用件やicsファイル、wavファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none">サウンドボードがついていない。(7ページ)パソコンにスピーカーが内蔵または接続されていない。
保存したicsファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none">icsプレーヤー(57ページ)をインストールしてください。(ICD-PCLINKをインストールすると、自動的にicsプレーヤーもインストールされます。icsプレーヤー単独のインストールもできます。詳しくは11~15ページ参照。)
保存したwavファイルが再生できない。	<ul style="list-style-type: none">wavファイルを再生できるソフトウェアがインストールされていない。サウンドレコーダーなどをインストールしてください(56ページ参照)。
再生音量が小さい。	<ul style="list-style-type: none">パソコン側で音量を上げてみてください。(詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。)wavファイルの場合は、サウンドレコーダー(Windowsに搭載)で音量を上げて保存しなおすこともできます。
本ソフトウェアを起動したときフリーズ(ハングアップ)してしまう。	<ul style="list-style-type: none">他にインストールされているドライバおよびアプリケーションソフトとのコンフリクトの可能性がある。


故障かな?(つづき)

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因/対策
接続確認 「通信ができませんでした。 ケーブルが正しく接続されて いるか確認してください。」	<ul style="list-style-type: none">•接続ケーブルがはずれている。 接続を確かめてください。(16、18ページ)なお、ケーブルを接続するときは、必ずICレコーダーを停止状態にしてください。•ICレコーダーと接続する前にプリンターポートに別の周辺機器(プリンターなど)を接続していた。 コンピューターを再起動してみてください。それでもうまく通信できない場合は、プリンターポートのモード設定(66ページ)を行ってください。•プリンターポートに対して一定時間ごとに通信するようなプログラムが設定されている。 現在他の周辺機器を接続していなくても、そのプログラムがプリンターポートに通信するように設定されていると、ICレコーダーとの通信ができません。自動的に通信しないようにそのプログラム設定を変更してください。•ICレコーダーが故障している。 接続ケーブルをはずして、ICレコーダーが正しく動作するか確認してください。•パソコンの機種によってはICD-PCLINKソフトウェアに対応していないものもあります。
「用件が更新されています。 再接続を行います。」	<ul style="list-style-type: none">•ICレコーダーに録音された用件が更新されているため、最新のデータの読み込みが必要。

メッセージ	原因/対策
電池確認 「ICレコーダー本体から接続ケーブルをはずし、新しい電池に交換してください。」	<ul style="list-style-type: none"> ICレコーダー本体の乾電池が消耗している。[*]一度接続ケーブルをはずしてから、2本とも新しい単4形アルカリ乾電池に交換してください。その後、もう一度ケーブルを接続しなおしてください。
保存エラー 「容量が足りません。」	<ul style="list-style-type: none"> 用件の保存またはバックアップ保存時、パソコンの空き容量が不足して保存できない。
書込エラー 「容量が足りません。」	<ul style="list-style-type: none"> 用件の書き込みまたはバックアップ書き込み時、ICレコーダーの空き容量が不足して保存できない。
用件管理エリアフル 「用件の途中までしか書き込めませんでした。」	<ul style="list-style-type: none"> 用件の書き込み時、ICレコーダー側の用件を管理する領域に空きがなくなってしまったため、用件の途中までしか書き込めなかった。
ファイル形式エラー 「このwavファイルは書き込めません。PCM 11.025 kHz、8/16ビット、モノラルに変換してください。」	<ul style="list-style-type: none"> 形式の違うwavファイルをICレコーダーに書き込もうとした。 呼び戻せる形式に変換してから操作しなおしてください。(39ページ)
「ファイル形式が違うため、書き込みできませんでした。(別機種で作成したファイルの可能性あります。)」	<ul style="list-style-type: none"> ics形式でも、別機種で作成した場合などは書き込みできません。パソコンからICレコーダーに書き込めるicsファイルは、ソニーICレコーダーICD-R100/R200で録音した用件のみです。

***電池残量について**

ICレコーダー本体の表示窓の電池残量が十分でも、パソコンに接続するためには残量が不足している場合があります。ICレコーダーをパソコンと接続せずに本体だけで使用する場合は、本体表示窓にが表示されるまでは電池を交換する必要はありません。

パソコン側のプリンターモードの設定を変更するには

ICレコーダーとの通信ができない場合は、以下の設定変更を行っててください。

はじめに

パソコン側のプリンターポートのモード設定は、ご使用になるパソコンの機種によって異なりますので、いくつかの設定を試してみる必要があります。ご使用になるパソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 パソコンのBIOSセットアップ画面に入る。

■ ご注意

BIOSセットアップ画面への入りかたはパソコンの機種によって異なります。(起動途中で押すキーが表示されるパソコンもあります。)詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 プリンター(パラレル)ポートのモードを確認する。

ICレコーダー本体とパソコンとの間の双方向通信が可能なモードに設定する必要があります。

BI-DIRECTIONAL(バイディレクショナル、双方向)モードなどの双方向に対応したモードを選択し、設定を保存して終了してください。

■ ご注意

- モードの表示のしかたはパソコンの機種によって異なります。
- NORMALやSPP等は、通常のプリンター用の設定なのでICD-PCLINKソフトウェアでは使用できません。
- EPP、ECPモードでは動作が不安定になることがあります。
- ご使用になるパソコンの機種によっては、コントロールパネルの中の[I/Oポート設定]等でモードを設定できるソフトウェアが付属しているものもあります。

3 コンピューターを再起動する。

再起動を行わないと、設定が有効になりません。

4 ICD-PCLINKを起動してICレコーダーにケーブルを接続し、正しく通信できるか確認する。

正しく通信できない場合は、再度手順1からやり直し、手順3でプリンターポートのモードを別の設定に変更し、動作確認を行ってください。

■ ご注意

- 他のアプリケーションソフトのインストールを行うと、上記の作業で行ったパソコン側のプリンターポートのモード設定が変更されてしまう場合があります。その場合には、再設定が必要になります。
- ICD-PCLINKソフトウェアをご使用になる前に、プリンターポートを別の機器に接続して使用していたときは、上記の手順で行なったパソコン側のプリンターポートのモード設定が変更されてしまう場合があります。その場合には、コンピューターを再起動してみてください。それでもうまく通信できない場合は、再設定が必要になります。設定内容をメモしておくことをおすすめします。

索引

五十音順

ア行

空き容量	7、52、63、65
アラーム設定	18、21、37、51
アプリケーションの追加と削除	15
アンインストール	14
1件保存	24
1ファイル書き込み	38
1ファイル保存	28
1フォルダ書き込み	41
移動(用件の)	44
インストール	11
エラーメッセージ	64
音声ファイル	21、23、34、37

カ行

階層	21
カウンター	22、59
書き込む	37~43、54
拡張子	21、52
乾電池	19、65
起動する	17、58
コントロールパネル	15

サ行

再起動	13、19、64、67
再生(用件の)	22、56
[再接続]ボタン	20
サウンドボード	7、63
サウンドレコーダー	39、56、63
終了	20、60
[終了]ボタン	20、60
16 bit wavファイル	25、34
消去(用件の)	46~50

[消去]ボタン .. 20、46、48、50

[新規フォルダ]ボタン

..... 25、29、32、52

スライドバー 22、59

接続

(接続ケーブルとパソコンの)16

(ICレコーダーと接続ケーブルの)

..... 18

接続エラー(通信エラー)..... 19

全ファイル保存 31

挿入(用件の)..... 38、45

双方向モード 16、66

タ行

通信エラー(接続エラー) 19、64

電池 18、19、65

ドライブ 7、21

ドラッグアンドドロップ 24

ナ行

残り時間 21

ハ行

バイディレクショナルモード

..... 16、66

パソコン側(PC側)..... 21

8 bit wavファイル 25、34

バックアップ書き込み 54

バックアップファイル(icbファイル)

..... 51

バックアップ保存 51

[バックアップ保存]ボタン

..... 20、52

パラレル(プリンター)ポート

..... 7、16、66

ファイル	
(Aファイル、Bファイル)	
.....	21、28、31
(音声ファイル表示部).....	21
(ファイルサイズ).....	34、51、62
(ファイル名).....	25、35、52、61
ファイル形式(保存形式)	
.....	34、61、65
フォルダ表示部.....	21
フォルダ名.....	29、32、35
変換.....	61
[保存]ボタン	
.....	26、29、32、53、61
保存(用件の).....	23
プリンター(パラレル)ポート	
.....	7、16、66
プリンターモード.....	66
フロッピーディスク... ..	7、11~13
ポインター.....	24
保存形式.. ..	25、29、32、34、61
保存年月日.....	35
マ行	
マイコンピュータ.....	11
右クリック.....	21
メイン画面.....	20
ヤ行	
用件番号.....	21、35、45、47
容量(ファイルサイズ).....	34
呼び戻す(用件を).....	37
ラ行	
録音可能時間.....	21
録音日時.....	21
録音年月日.....	35
録音モード.....	21

アルファベット順

A、B	
BI-DIRECTIONALモード.....	16、66
BIOSセットアップ画面.....	66
C、D	
DIGITAL I/Oコネクター.....	18
E、F、G、H、I	
ICレコーダー側	
21、24、28、31、38、41、54	
icbファイル.....	21、51
ICD-PCLINKソフトウェア	
.....	11、17
[ICD->PC]ボタン	
.....	20、27、30、33
[ICD<-PC]ボタン	
.....	20、40、43、54
icsファイル(形式)	
21、25、34、37、57、62、63	
icsプレーヤー.....	12、57
J、K、L	
LPモード.....	21
M、N、O、P	
PC側	
21、24、28、31、38、41、54	
Program Files.....	36
Q、R	
ReadMe.....	2
S	
setup.exe.....	11
Sonyフォルダ.....	36
SPモード.....	21
T、U、V、W	
wavファイル(形式)	
21、25、34、37、56、62、63	

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店で
お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニー
サービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧
ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではWindows用パソコン接続キットの補修用性能部品(製品の機能を維持
するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部
品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後
も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店または
サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業
省の指導にもよるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型式：ICKIT-W2
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日
- ご使用の環境:
 - ご使用パソコンの機種名
 - メモリー容量
 - ハードディスクなどの容量

お問い合わせ窓口のご案内

ポータブルオーディオ・カスタマーサポート
パソコン対応ICレコーダーに関する最新
サポート情報や、よくあるお問い合わせと
その回答をご案内するホームページです。

<http://www.sony.co.jp/support-pa/>

テクニカルインフォメーションセンター

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、
故障と思われるときのご相談は下記までお問い
合わせください。

電話：048-794-5194

受付時間：月～金 午前9時から午後5時まで
(祝日、年末年始、弊社休日を除く)

ご相談になるときは次のことをお知らせ
ください。

- 型名：ICKIT-W2
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日
- ご使用のパソコンの環境
 - － ご使用のパソコンの機種名
 - － メモリー容量
 - － ハードディスクなどの容量

ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

Printed in Japan

この説明書は再生紙を使用しています。